

第10回防災推進国民大会  
ぼうさいこくたい2025 in にいがた

第3回現地情報共有・連携会議

新潟県の出展予定内容



新潟県

防災局 防災企画課

## 新潟県関係の出展概要

所 属	テーマ、概要など	出展タイプ等		
防災	防災企画課	中越地震を越えて -新潟から次世代へのメッセージ-	セッション (S-03)	
		誰一人取り残さない避難行動に向けて -実効性ある個別避難計画の作成- (福祉保健部と共催)	セッション (S-28)	
		災害時の住家被害認定調査等の応援・受援の枠組み「チームにいがた」	セッション (S-45)	
		火山防災の日啓発イベント (内閣府と共催)	セッション (S-17)	
		起震車に乗って体験、中越地震の揺れ	屋外展示 (O-52)	
		備えていますか? 保険・共済による自然災害への備え (新潟県地震等災害保険・共済普及協議会)	ブース展示 (B-155)	
危機対策課 消防課		知っておきたい情報満載「新潟県防災ナビ」/映像で知る防災ヘリコプターの仕事	ブース展示 (B-178)	
		消防団の活動を体験～あなたも街のヒーローになろう～	ブース展示 (B-172)	
		女性防火クラブの活動紹介、防火・防災の呼びかけ (新潟県女性防火クラブ連絡協議会)	ブース展示 (B-169)	
福祉	生活衛生課	みんなが助かるためのペット防災を考えよう～にいがたペット防災ミニサミット～ (関係団体と共催)	ワークショップ (W-04)	
農林	治山課	流木災害の新たな気づき～令和4年の新潟県北豪雨から考える～	パネル展示 (P-130)	
農地	農地建設課	農業水利施設と新潟の農村を巡る防災バスツアー (関係団体と共催)	出展者オリジナル企画 (OR-6)	
土木	道路管理課	持続可能な除雪体制の構築に向けて (除雪オペレータ担い手確保協議会の取組)	パネル展示 (P-131)	
	道路建設課	県内の高規格道路の整備状況と災害時の役割	パネル展示 (P-132)	
	河川管理課 河川整備課	命と暮らしを守る川づくりと防災教育-新潟県の取組	ブース出展 (B-176)	
	砂防課	土砂災害防止に向けた新潟県の取組	パネル展示 (B-175)	
	建築住宅課		はじめよう! わが家の地震対策 (耐震シェルタ 等の展示) (新潟県耐震改修促進協議会)	ブース展示 (B-174)
			屋根雪降ろしには「命綱」と「アンカー」を! (命綱固定アンカーを取り付けた屋根模型の展示・使い方実演等) (新潟県克雪住宅普及協議会)	屋外展示 (O-17)
		応急仮設住宅の模型展示等	ブース展示 (B-177)	
警察本部		災害時における警察の災害警備活動 (災害活動用車両の展示、体験乗車、子供用制服の試着)	屋外展示 (O-40)	



## 新潟県防災局主催セッションの概要

9月6日(土) 12:30~14:00 国際会議室

新潟県セッション(S-03)

中越地震を超えて—新潟から次世代へのメッセージ—

平成16年の中越地震は、新潟県の災害対策や復興の在り方を大きく変えました。本セッションでは、大学・民間・報道という異なる立場で復興に携わってきた3名の登壇者が、地域との関わりや再生の歩みを振り返りながら、「**地震があったからこそ見つめ直せた地域の力**」について語り、次なる災害に備え、地域との向き合い方や災害の教訓を次世代へつなぎます。

登壇者 長岡技術科学大学 教授 上村靖司  
中越防災安全推進機構 事務局長 諸橋和行  
株式会社なるほどが新潟Creative Works 代表取締役 酒田 暁子

9月7日(日) 14:30~16:00 展示控室

新潟県セッション(チームにいがた)(S-45)

災害時の建物調査・罹災証明書発行のための応援・受援の枠組

建物被害認定調査は、被災者の生活再建支援の第一歩となる罹災証明書を発行するための重要な業務です。このセッションでは、令和6年能登半島地震の被災自治体への支援の取組を通して、災害時の**建物被害認定調査業務や自治体間の相互応援**の重要性を全国に向けて発信します。

登壇者等 新潟大学 教授 田村圭子  
立命館大学 教授 井ノ口宗成  
MS & ADインターリスク総研株式会社 取締役・フェロー 堀江啓  
中越防災安全推進機構 事務局長 諸橋和行  
東京都総務局総合防災部 復興支援課長 亀田雄太  
福島県危機管理部災害対策課 主幹 吉村哲哉  
新潟県防災企画課 主任 小出祥之

9月6日(土) 16:30~18:00 中会議室201A

新潟県セッション(防災局・福祉保健部)(S-28)

誰一人取り残さない避難行動に向けて—実効性ある個別避難計画の作成—

**個別避難計画**の意義や自治体や関係機関の取組事例、優先度が高い医療的ケア児の取組等をテーマに、災害時の避難支援と事前計画の大切さについて発信します。また、個別避難計画の策定はどこまで進んだのか、これからどこに向かうのか、内閣府モデル事業アドバイザー委員を招いて、議論します。

登壇者等 内閣府防災 参事官(生活環境担当) 水野忠幸  
三条市総務課防災対策室長 小柳充  
新潟県防災企画課 主任 小出祥之  
福井大学 名誉教授 酒井明子(ビデオ報告)  
跡見学園女子大学 教授 鍵屋一  
同志社大学 教授 立木茂雄  
兵庫県立大学 教授 阪本真由美  
コーディネーター 新潟大学 教授 田村圭子

9月7日(日) 14:30~16:00 展示控室

内閣府・新潟焼山火山防災協議会(新潟県)セッション(S-17)

「火山防災の日」啓発イベント

活動火山対策特別措置法が改正され、令和6年から、8月26日が「火山防災の日」となりました。火山は、私たちの生活に恵を与えてくれる一方で、噴火に伴って発生する火砕流や大きな噴石等の現象は、避難までの時間的猶予がほとんどなく、生命に対する危険の高い災害をもたらす恐れがあります。このセッションでは、地域における「**火山防災**」の観点から、**地域住民の防災意識の向上**について考えていきます。

登壇者 京都大学名誉教授 石原和弘  
文部科学省 研究開発局 地震火山防災研究課 測地学専門官 久利美和  
新潟地方気象台 地震津波火山防災情報調整官 山崎貴之  
糸魚川市フォッサマグナミュージアム 館長 竹之内耕